

<教育長だより 77号 枇差岳朝日に映えて 令和8年1月13日>



あいさつ運動

教育長 津野庄一郎

「おはようございます」「おはよう」子どもたちの爽やかなあいさつが飛び交います。1月9日・13日と関川小中合同のあいさつ運動（7時45分～8時）に参加しました。小学校では中学生や教職員も加わり、玄関前は明るく活気に満ちます。（中学校は坂下で生徒と教職員で）一方、そこには普段と変わらない地域見守りボランティアの姿もあります。毎朝、校門や坂下、或いは通学バスの降車場に立ち、子どもたちを迎えてくれます。

小中学生（異学年）が一緒になってあいさつ運動を定期的に実施しているところは県内でも多くはありません。この取り組みは村のよさでもあるので、あいさつ運動が、関川村の「あいさつの日」として広く村民にも定着するといいなと思います。

イチロー選手は、「挨拶は人への敬意だと思う」「自分以外の大切な人を大切にする」重要な行為であると語っています。あいさつをコミュニケーションの一助とするだけでなく、「敬意」「感謝」「協力」という思いを込めるということは大いに見習うべき点ではないでしょうか。

「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」など、その場にふさわしいあいさつができるようになることが、学力云々の前に、人として大切な基礎基本だと考えます。令和8年も家庭・学校・職場・地域で爽やかなあいさつを実践してまいりましょう。

<【写真】関川小学校児童玄関前でのあいさつ運動の様子>